

10年間の大賞本とノミネート本を紹介します！

2016

2017

2014

さばの街づめ、宇宙へいく
小坂護之、林公代
イースト・プレス

あと少し、もう少し
瀬尾まいこ
新潮社

生きるぼくら
原田マハ
徳間書店

旅猫リポート
有川浩
文藝春秋

ランチのアッコちゃん
柚木涼子
双葉社

おもかげ復元師
菅原留心子
ポプラ社

挫折を愛する
松岡伸浩
角川書店

僕はミドリムシで世界を救うことに決めました。
出雲充
ダイヤモンド社

エンジェルフライト
佐々淳子
集英社

本当に「英語を話したい」キミへ
川島永嗣
世界文化社

2015

いのちの花
向井愛実
WAVE出版

跳びはねる思考
東田恵樹
イースト・プレス

センスは知識からはじまる
水野学
朝日新聞出版

熱く生きる
天野眞
セブン&アイ出版

わたしはマララ
マララ・ユスフザイ
クリスティーナ・ラム
学研ブライディング

大人はどうして働くの？
宮本真理子編著
日経BP社

18代のうちに知っておきたい折れない心の作り方
水島広子
紀伊國屋書店

ナウシカの飛行機、作ってみた
八谷和彦、猪谷千香
幻冬舎

子どもはなぜ勉強しなくちゃいけないの？
おおたとしまさ子編著
日経BP社

2016

あつ！命の授業
ユルゴ松本
廣済堂出版

明日は、いずこの空の下
上橋菜穂子
講談社

頂点への道
藤原まこと、秋山英宏
文藝春秋

1945-2015
室田元美聞き書き
ころから

キミの目が覚めたなら
中原尚志、中原麻衣
主婦の友社

主夫になってはじめてわかった主婦のこと
中村シユフ
濱江尚書

人工知能は人間を超えるか
松尾豊
KADOKAWA

10代からの情報キャッチボール入門
下村健一
岩波書店

ヘンな論文
サンエータツオ
KADOKAWA

お客さまはゆいぐるみ
東園純、斎藤真紀子
飛鳥新社

2017

ミライの授業
瀧本昌史
講談社

がさつ力
千原せいじ
小学館

18歳からの選択
上木原弘修ほか
フィルムアート社

空想教室
樋口大祐
サンクチュアリ出版

転換期を生きてきた私たちへ
内田樹編
晶文社

18きっぷ
朝日新聞社、朝井リョウ
朝日新聞出版

16歳の語り部
藤原由多ほか語り部
ポプラ社

ちいさなちいさなペビー座
八束選手
新日本出版社

10年間の大賞本

2014

『島はぼくらと』
辻村深月
講談社

2015

『紙つなげ！彼らが本の紙を造っている』
佐々淳子
早川書房

2016

『鉄道デザインの心』
水戸岡鋭治
日経BP社

2017

『宇宙を撮りたい、風船で。』
岩谷圭介
キノブックス

2018

『バッタを倒しにアフリカへ』
前野ウルト池田太郎
光文社

2019

『大家さんと僕』
矢部太郎
新潮社

2020

『キリン解剖記』
郡司秀久
ナツメ社

2021

『なんのために学ぶのか』
池上彰
SBクリエイティブ

2022

『世界でいちばん幸せな男』
エディ・ジェイク、金原理人訳
河出書房新社

2023

『JK、インドで常識ぶっ壊される』
熊谷はるか
河出書房新社

13歳からの地政学

田中孝幸
東洋経済新報社

差別はたいへん
人権を学ぶ
大月書店

私の中のこの邪悪な感情をどうしよう？
石井裕之、押切右美
小川めぐみ、大槻秀生
祥伝社

地球は食べ物
ホモサピ
KADOKAWA

18歳からの選択

上木原弘修ほか
フィルムアート社

18きっぷ

朝日新聞社、朝井リョウ
朝日新聞出版

16歳の語り部

藤原由多ほか語り部
ポプラ社

ちいさなちいさなペビー座

八束選手
新日本出版社

2022

『私の中のこの邪悪な感情をどうしよう？』
石井裕之、押切右美
小川めぐみ、大槻秀生
祥伝社

『地球は食べ物』
ホモサピ
KADOKAWA

『2020年6月30日にまたここで会おう』
佐藤大輔
星海社

『武器ではなく命の水をおくりたい 中村哲医師の生き方』
宮田律
平凡社

『家族だから愛したんじゃなくて、愛したのが家族だった』
岸田奈美
小学館

2021

『タネの未来』
小林宙
家の光協会

『おとめ六法』
上谷さくら、岸本学
KADOKAWA

『なぜ僕らは働くのか』
池上彰
学研プラス

『わたしの外国語漂流記』
阿部賢一ほか
河出書房新社

『ドラえもんを本気でつくる』
大澤正彦
PHP研究所

2020

『私は私のままで生きることにした』
キムスヒョン、吉川南訳
ワニブックス

『本当の頭のよさってなんだろう？』
斎藤孝
誠文堂新光社

『「空気を」読んでも従わない』
高上尚史
岩波書店

『あふれたのはやさしさだった』
泉美千子
西日本出版社

2019

『本の本』
夢野ねむ
新潮社

『15歳のコーヒー屋さん』
岩野豊
KADOKAWA

『髪がつかなく物語』
別所芳子
文研出版

『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』
新井紀子
東洋経済新報社

『多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ。』
Jam
サンクチュアリ出版

『学校に行きたくない君へ』
全国不登校新聞社編
ポプラ社

『注文をまちがえる料理店』
小国土朗
あさ出版

『選べなかった命』
河合香織
文藝春秋

『人生を狂わす名書 50』
三宅香帆
ライツ社

『「国境なき医師団」を見に行く』
いとうせいこう
講談社

『世界は変形国でいっぱい』
増井真耶
朝日出版社

2018

『知らない戦争』
アサー・ピナード
小学館

『僕たちが何者でもなかった頃の話をしよう』
山中伸弥ほか
文藝春秋

『学校へ行けなかった私が「あの花」「ここさけ」を書きまで』
岡田恵生
文藝春秋

『洞窟ばか』
吉田勝次
扶桑社

『鳥類学者だからって、鳥が好きだと思えるよ。』
川上和久
新潮社

『赤色のチョーク』
小松成美
幻冬舎

『もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら』
神田桂一、菊池良
宝島社

『あるかしら書店』
ヨシタケシンスケ
ポプラ社

『顔ニモマケズ』
水野敬也
文芸春秋

『女の子が生きていくときに、覚えていてほしいこと』
西原理恵子
KADOKAWA

『もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら』
神田桂一、菊池良
宝島社

『給食のおばさん、プータンへ行く！』
平澤さえ子
飛鳥新社

令和5年度 でーれー BOOKS 10周年記念 図書委員会 交流会



日時 2023.8.2 Wed. 13:00~16:00
会場 岡山県立図書館（サークル活動室）
参加者 14校 32人

共催：岡山県高等学校教育研究会学校図書館部会備前支部協議会、岡山県立図書館、岡山県読書推進運動協議会

でーれー BOOKS10周年を記念して図書委員会交流会を開催しました！
過去のでーれー BOOKS 大賞本を読んで意見を交わし、読書ボードを作成しながら交流を深めました。

- 【対象本：過去の大賞受賞作品より】
- | | | | |
|------------------------------------|---|--------------------------------|------------------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 1 『JK、インドで常識ぶっ壊される』 熊谷はるか / 河出書房新社 | 2 『世界でいちばん幸せな男』 エディ・ジェイク、金原瑞人訳 / 河出書房新社 | 3 『なんのために学ぶのか』 池上彰 / SBクリエイティブ | 4 『キリン解剖記』 郡司芽久 / ナツメ社 |

■ 当日の流れ ■

- 事前に割り当てられた対象本を読み、読書メモを携えて参加。
【読書メモ】
・本を読んで思い出したこと、気がついたこと
・疑問に思ったり、理解できなかったこと
・印象に残った一文
- 同じ本を読んだ者同士でグループ（全6グループ）を作り着席。
- 各校図書委員会の活動報告
- 自己紹介・読書メモを活用しながらの読書会（意見交換）
→ 模造紙をメモ代わりに、感想や意見をまとめていく。
- 画用紙等を選び、読書ボードを完成させる。
- グループごとに本の魅力や、各グループで話し合ったことを発表。
- 各グループのボードを見たり発表を聞いたりして、「いいね！」と思うポイントを見つけ、付箋に書いて貼っていく。

- 読書メモを活用した読書会（意見交換）
- グループで読書ボードの制作
- 読書ボードの発表
- 「いいね！」で相互評価

■ 読書ボード



■ 感想 ◆はじめは、違う学校の違う学年の先輩もいたりして、緊張していたけど、本の内容から会話がどんどん広がって楽しかった。読書会中、笑顔の絶えないグループで話せて楽しかった。参加してよかったと思った。◆「OOがOOだったよね！」と言ったら「そうだね！」と言ってもらえて、同じ本を読んだ人と話すことの楽しさを改めて感じました。楽しかったです。◆多くの学校の図書委員のみなさんと本について意見を交換することができて、楽しかったです！◆他校と交流する貴重な機会が得られてとてもよかったと思う。交流会を通して他校の図書委員の活動を知ることによって本校の図書委員会活動を客観視できた。ポスター作りは、初対面の人と協力して作成しないといけないのでかなり苦戦したけど、最終的にはなんとか形になったし、私にとって有益な時間だったと思う。◆共感できる部分が多かった。◆最初は緊張して固くなってたけど、話しているうちに打ち解けてきて、共感した部分・しなかった部分の話ができるようになった。◆他校の子が、より深く読みこんでいてすごいと思った。◆本の内容について、人と話す機会が今までなかったので、刺激的だった。一つのフレーズでもいろいろな考えが出てきて、面白かった。◆自分の受け取り方でよかったんだという自信になった。◆初対面の人ばかりで、緊張しましたが、本を共通の話題にして色々な話もできました。お互いの意見を交換したり、図書館のバックヤードを見て回ったりと、なかなか無い経験になりました。◆みんなが同じ本を読んで集まって意見を出し合うのがとても楽しかったです。



でーれー BOOKS 10周年記念 特別号

「でーれー BOOKS」とは
図書館には多様なジャンルの本があることを知ってもらいたい！という願いからはじめた、岡山の高校司書による高校生向けの「おすすめ本コンテスト」です。
平成25年より岡山県高等学校図書館ネットワーク研究委員会が主催し、年に1度開催しています。



令和5年度で
10周年を
迎えました！

『でーれー BOOKS10 年間の大賞本からあなたにピッタリの1冊を見つけよう！』

START

スリルのある人生を送りたい	YES →	メリハリのある色の組み合わせが好きだ	YES →	高いところが好きだ	YES →	諦めない！チャレンジしたいあなたへ	A		
NO ↓		NO ↓		NO ↓					
トリセツは読まない派だ	YES →	ONLY ONE! 人とかぶるのはイヤ	YES →	異世界に行ってみよう	YES →	世界へ飛び出そう！好奇心あふれるあなたへ	B		
NO ↓		NO ↓		NO ↓					
勉強が好きだ	YES →	趣味は人間観察だ	YES →	おじいちゃん子 or おばあちゃん子だ	YES →	人生の先輩に学ぼう！人生を豊かにしたいあなたへ	C		
NO ↓		NO ↓		NO ↓					
成功したい！目標を見つきたいあなたへ	F	匠を目指せ！モノづくりに興味のあるあなたへ	E	人とのつながりは宝！出会いを大切にしたいあなたへ	D				

A ● 宇宙を撮りたい、風船で。 / 岩谷圭介 / キノブックス
 ● キリン解剖記 / 郡司芽久 / ナツメ社
B ● バッタを倒してアフリカへ / 前野ウルド浩太郎 / 光文社
 ● JK、インドで常識ぶっ壊される / 熊谷はるか / 河出書房新社
C ● 大家さんと僕 / 矢部太郎 / 新潮社
 ● 世界でいちばん幸せな男 / エディ・ジェイク / 河出書房新社
D ● 島はくろと / 辻村深月 / 講談社
E ● 紙つなげ！彼らが本の紙を造っている / 佐々涼子 / 早川書房
 ● 鉄道デザインの心 / 水戸岡鋭治 / 日経BP社
F ● なんのために学ぶのか / 池上彰 / SBクリエイティブ

発行：岡山県高等学校図書館ネットワーク研究委員会
発行年月：令和5年12月